

2020年4月27日

株式会社電通デジタル

## 電通デジタル、電通、セプテーニ、 デジタル広告とマス広告の相乗効果を最大化する 「オンオフ統合クリエイティブワークフロー」を開発、運用開始

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：川上 宗一 以下、電通デジタル）、株式会社電通（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：五十嵐 博 以下、電通）、株式会社セプテーニ（本社：東京都新宿区 代表取締役社長：清水 雄介 以下、セプテーニ）は、デジタル広告とマス広告の連動・併用による相乗効果を最大化する「オンオフ統合クリエイティブワークフロー」を開発し、2020年5月1日より順次運用を開始します。

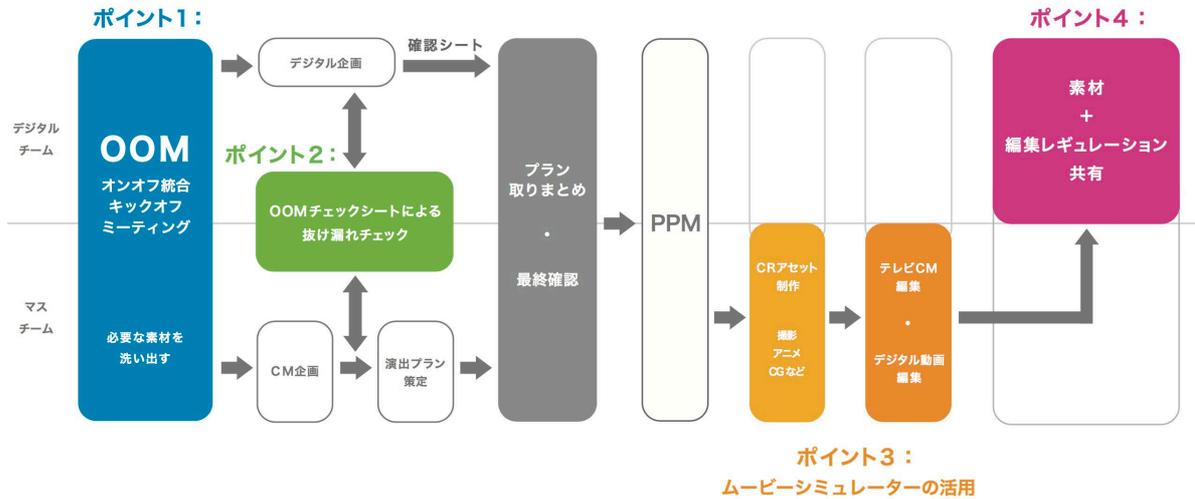
近年、デジタル広告（オン）とマス広告（オフ）を連動・併用するマーケティング活動が高い効果を発揮することが広告主に理解・浸透してきました。そのため広告素材のオンオフ連動も増えており、今後、ますます加速することが予想されます。

電通のデータドリブン・クリエイティブ・センター、電通デジタルのアドバンスクリエイティブセンター<sup>※1</sup>、セプテーニでは、これまでのオンオフ連動成功事例のプロジェクト担当者から知見を改めて集約し体系化。デジタル広告とマス広告のクリエイティブ素材を一元的にプランニング・制作・管理するワークフローを共同で開発しました。さらに、オンオフ連動をよりスムーズに行うためのツールを開発したことで、デジタル広告とマス広告を高い次元で統合させ、クオリティとコストの両面から相乗効果を生み出します。

具体的には、オンオフ統合キックオフミーティング（OOM）を設定・定例化し、その際に双方で共有すべき項目・確認事項をチェックリスト化。デジタル広告とマス広告の連動・併用に必要な素材のパターンをあらかじめ想定します。また、映像・画像編集時にデジタルメディアでの再生時の見え方を事前に確認できる新ツール「ムービーシミュレーター」を開発・導入しました。これにより、オンオフ統合案件の業務全体の品質向上、サービス向上を実現することが可能となります。

本制作ワークフローは、「デジテレMAX」プロジェクト<sup>※2</sup>の一環として実案件に順次導入をしていくとともに、リモート制作体制にも対応していきます。

■ オンオフ統合クリエイティブワークフロー



※1：電通デジタル アドバンストクリエイティブセンターについて

<http://advancedcreativecenter.com>

※2：デジタルMAXプロジェクトとは

デジタル広告とテレビ広告を効果的に連動・併用することでマーケティング効果を最大化することを目的としたプロジェクト。

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

竜野・横田 TEL：03-6217-6036

Email：[press@dentsudigital.co.jp](mailto:press@dentsudigital.co.jp)

株式会社電通 広報局 広報部

平松、曲山 TEL：03-6216-8041

Email：[koho@dentsu.co.jp](mailto:koho@dentsu.co.jp)

【事業に関する問い合わせ先】

デジタルMAX 問い合わせ窓口

Email：[d-tv-max@dentsu.co.jp](mailto:d-tv-max@dentsu.co.jp)